
お 知 ら せ

~~~~~

### § 医薬品・医療用具等安全性情報 (厚生労働省医薬食品局)

平成 16 年 4 月 No. 200

~~~~~

医薬品・医療用具等安全性情報No.200が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載されますので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌（5月1日号）（1，2のみ）	クリニカル プラクティス（6月号）
日本薬剤師会雑誌（6月号）（1，2のみ）	月刊薬事（5月号）
日本病院薬剤師会雑誌（6月号）	診療と新薬（5月号）

NTTのファクシミリ通信網サービス「Fネット」を通じ、最近1年間の「医薬品・医療用具等安全性情報」がお手元のファクシミリから随時入手できます（利用者負担）。既に、Fネットに加入されている方は、次の操作番号で目次を引き出して下さい。162# 284 03 3508 4364 01#（Fネットへの加入等についての問い合わせ先は☎0120-161-011）

なお、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能です。

1. オプチペンプロ1（インスリン自己注射用注入器）の使用に伴う過量投与の防止について

インスリン自己注射用注入器の使用に伴う過量投与の防止に関する緊急安全性情報（No. 03-02）を紹介するとともに医療関係者等に注意喚起を行う。

2. 呼称が類似していることから、誤って輸入された場合に副作用が問題となる生薬及び製剤について

最近、アリストロキア酸を含有する広防已という生薬が誤って漢防已として国内に輸入されて流通し、日本薬局方ボウイとして用いられ、アリストロキア腎症を発症したと思われる事例

が報告された。これらの生薬は形態が類似し、かつ、国や流通過程での呼称も類似していることが、取り違えを起こしやすい原因の一つと考えられる。したがって、国内で承認された医薬品（生薬及び漢方製剤）では問題とならないものの、渡航先での購入やネット販売による個人輸入の際に、アリストロキア酸の含有が疑われる生薬を用いた製剤を購入して服用する可能性があることから、中国などで用いられる生薬と呼称が類似することにより副作用等が問題となる生薬に関する注意点をまとめた。

3. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構設立に伴うホームページアドレスの変更

4月より独立行政法人医薬品医療機器総合機構設立に伴い、医薬品医療機器情報提供のホームページアドレスが変更されたお知らせをする。

4. 健康食品・無承認無許可医薬品による健康被害について

健康食品・無承認無許可医薬品の健康被害については最寄りの保健所に連絡するをお願いをする。

(No. 199, No. 201 はダイジェスト版なしのため、掲載しません)